



帯広市財政の状況

# 帯広市の台所事情

令和8年9月  
帯 広 市



地方分権の進展に伴い、住民にとって最も身近な行政機関である市町村が担う役割、責任はより重要なものになっています。一方で、地方財政を取り巻く状況は厳しさを増しており、帯広市においても高齢化などに伴い社会保障費が増大しているほか、老朽化した公共施設への対応などにより支出が増えることが見込まれる反面、人口減少により税収などの大幅な伸びは期待できず、国からの地方交付税についても先行きが不透明な状況にあるなど、収入が増える見込みはたっていません。

このような状況において、将来にわたり行政サービスを安定的に提供していくために、市町村は健全な財政運営を行っていくことはもとより、財政状況について、住民にわかりやすく公表していくことが求められています。

この冊子は、こうしたことを踏まえ、令和7年度普通会計決算を中心とした帯広市の財政状況と主な事業内容について、わかりやすくまとめたものです。

やあ。ぼくは、白樺の妖精ばんばのしらかんばです。  
畑のともだちと一緒に、帯広市の財政について  
わかりやすく皆さんにお伝えします！

帯広市広報マスコットキャラクター  
**しらかんば**  
©帯広市2021



## = 目 次 =

|                  |        |
|------------------|--------|
| ▼ 普通会計について       | ・・・ 1  |
| 1. 決算規模の状況       | ・・・ 2  |
| 2. 歳入（収入）の状況     | ・・・ 3  |
| 3. 歳出（支出）の状況     | ・・・ 6  |
| 4. 基金（貯金）の状況     | ・・・ 9  |
| 5. 市債（借金）残高の状況   | ・・・ 10 |
| 6. 財政指標の状況       | ・・・ 11 |
| 7. 健全化判断比率       | ・・・ 12 |
| 8. まとめ           | ・・・ 14 |
| 9. 令和7年度の主な事業の内容 | ・・・ 16 |
| （参考）4つの財務書類      | ・・・ 23 |
| ■ 用語解説           | ・・・ 28 |



# 普通会計について

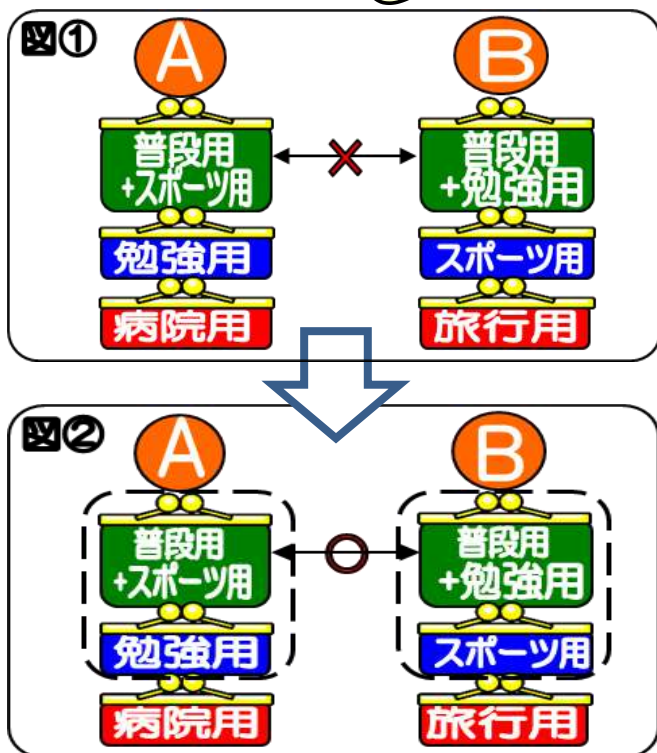
普通会計ってなんのこと？



そもそも会計とは、目的別の財布のようなもので、自治体（※1）は基本的な経費のための財布（一般会計）のほか、特定のものだけに使う財布（特別会計）をいくつも持っているんだ。  
特別会計には、法律で持つことが決められているものと、独自に持つことができるものがあるよ。  
全国の自治体の財政状況を比較するために一定の基準で集計したものが「普通会計」だよ。



※1（地方）自治体：市町村や都道府県などの地方公共団体のこと



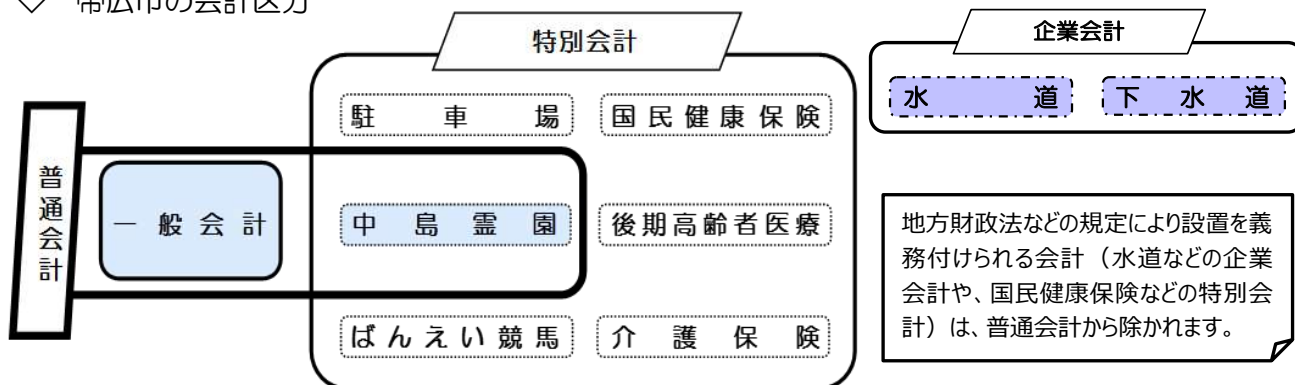
例えば、左の図①のようにAさんとBさんが異なる財布を持っていて、Aさんの普段用財布にはスポーツ用のお金が、Bさんの普段用財布には勉強用のお金が入っていると、2人の普段の出費を単純には比較できません。

そこで、左の図②のように、2つの財布を1つにまとめて、使い道を揃えることで比較できるようになります。これが普通会計の考え方です。

帯広市の場合は、「一般会計」と「中島霊園事業会計」の2つの財布からお互いに重複する部分を除いたものが「普通会計」の範囲となります。



◇ 帯広市の会計区分



# 1 決算規模の状況



決算ってなあに？

決算とは1年間に入ってきたお金（歳入）と払ったお金（歳出）の実績のことをいうんだよ。



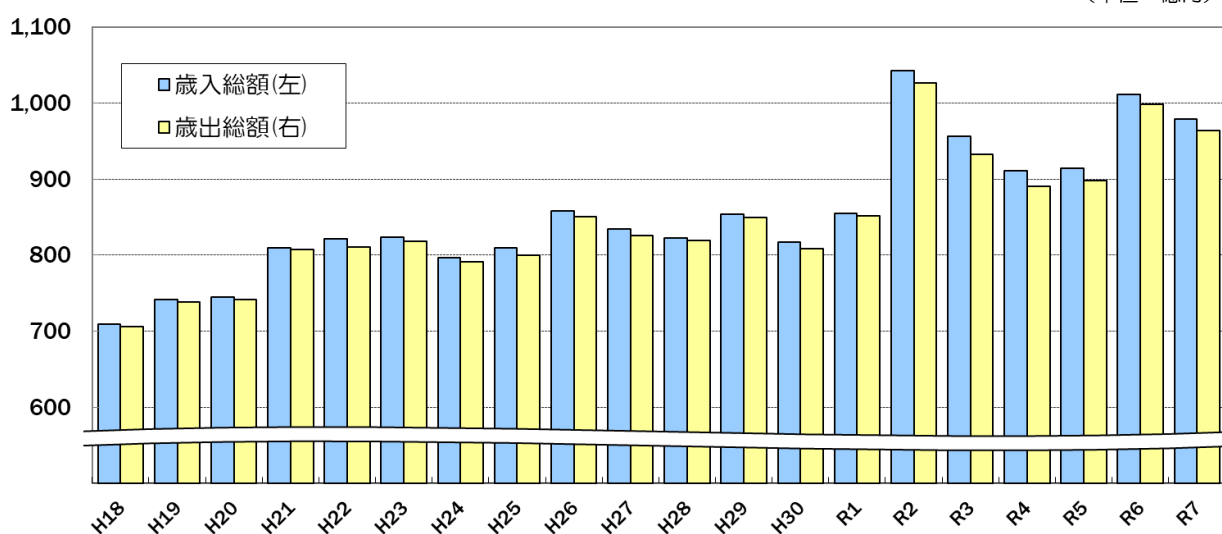
帯広市に入ってきたお金と払ったお金はいくらぐらいなの？

令和7年度は歳入が979億円、歳出が964億円だったよ。  
令和2年度以降、新型コロナウイルス感染対策や、物価高騰対策関連事業の実施などにより、決算規模が大きくなっているよ。



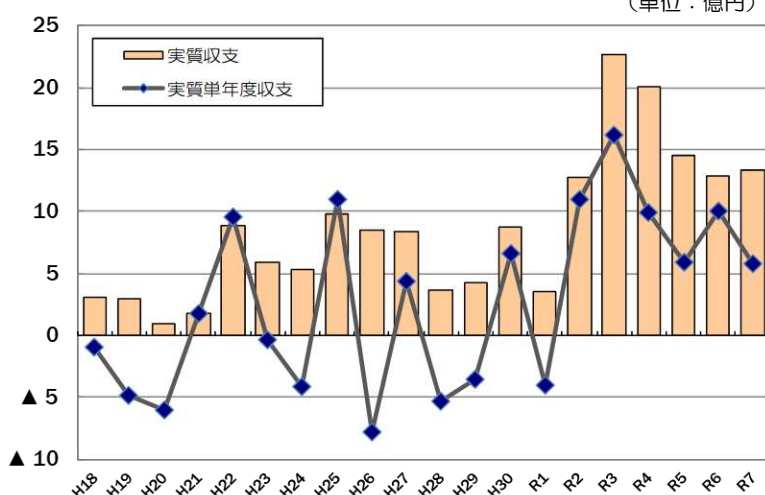
## ◇ 普通会計決算規模の推移

（単位：億円）



## ◇ 帯広市普通会計決算収支の推移

（単位：億円）



地方自治体の財政状況は、決算収支が赤字であれば不健全ということになりますが、逆に黒字が大きいほど良いというものでもありません。

過大な黒字が経常的に発生している状況であれば、適切な予算見積りとなっていない可能性も考えられ、行政サービスの水準や住民負担のあり方を見直した方が良いということになります。

令和7年度の帯広市の実質収支（※2）は13億3,445万円の黒字となりました。また、実質単年度収支（※3）についても、5億8,492万円の黒字となっています（詳細はp.14 まとめを参照）。



※2 実質収支：歳入歳出の差から翌年度に繰り越す事業の財源を差し引いたもの

※3 実質単年度収支：単年度収支（当該年度と前年度の実質収支の差）から財政調整基金の積立や取崩額などを加減したもの

## 2 歳入（収入）の状況



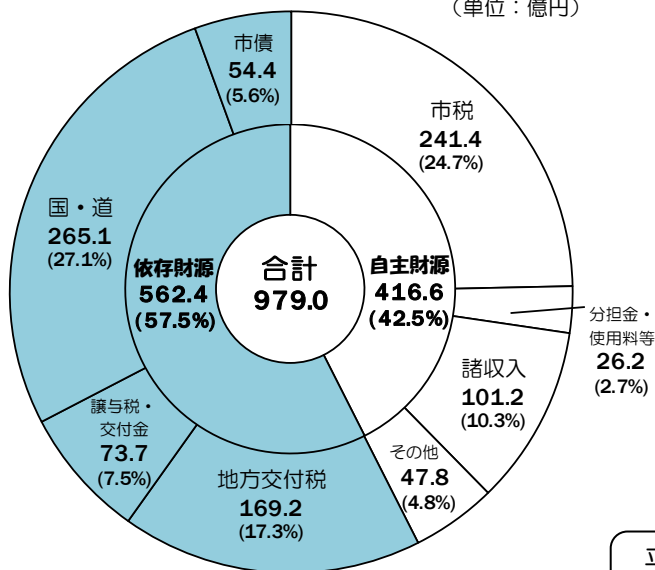
帯広市の収入にはどのようなものがあるの？



市民の皆さんなどが納める市税、国から交付される地方交付税、国や北海道からの支出金、公共施設などの利用者が支払う使用料などがあるんだよ。

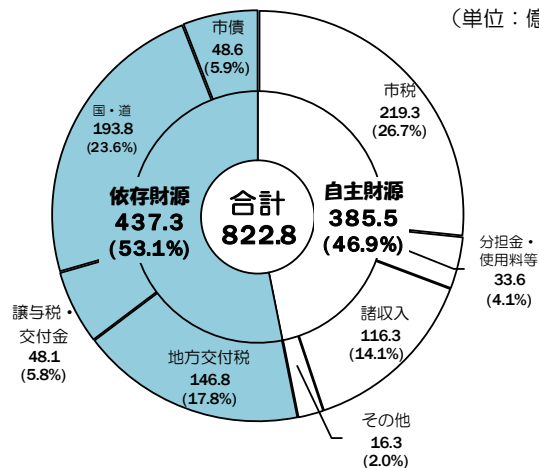
◇令和7年度普通会計決算額＜歳入＞

(単位：億円)



◇平成28年度普通会計決算額＜歳入＞

(単位：億円)

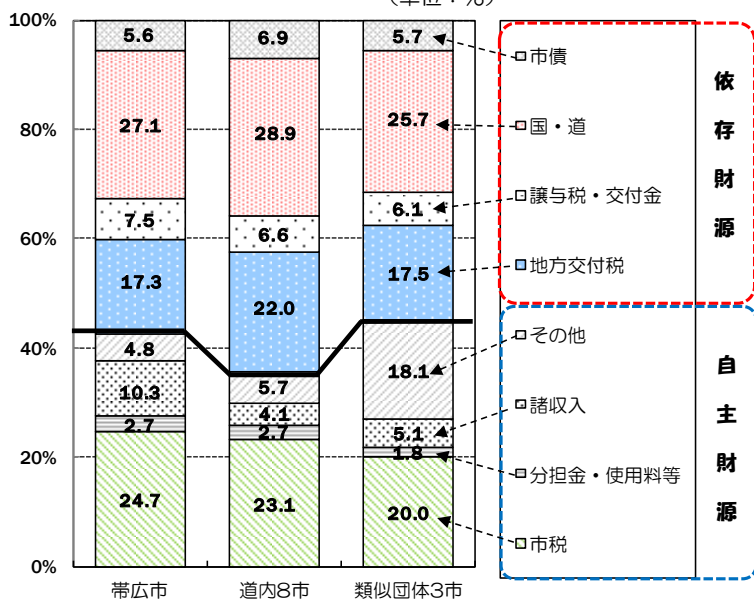


\*翌年度への繰越財源 1 億 6,567 万円を含みます。  
\*各歳入項目の説明は p.28 (用語解説) 参照

平成28年度の状況と比較すると、物価高騰対策等に伴い、国・道支出金が増加しているよ。

◇ 令和7年度歳入決算額に占める構成比  
＜道内8市、類似団体 (p.29<用語解説>) との比較＞

(単位：%)



※道内8市とは、旭川市、函館市、釧路市、苫小牧市、小樽市、北見市、江別市、室蘭市  
※道内8市・類似団体については速報値



歳入は、自前で調達できる収入（自主財源）と、国や道からの交付などによる収入（依存財源）に分けることができます。

帯広市の自主財源の比率は、道内8市の平均より高く、類似団体と同水準になっています。諸収入の割合が高いことがわかりますが、これは貸付金の返済による収入が他市に比べて多いことなどによるものです。



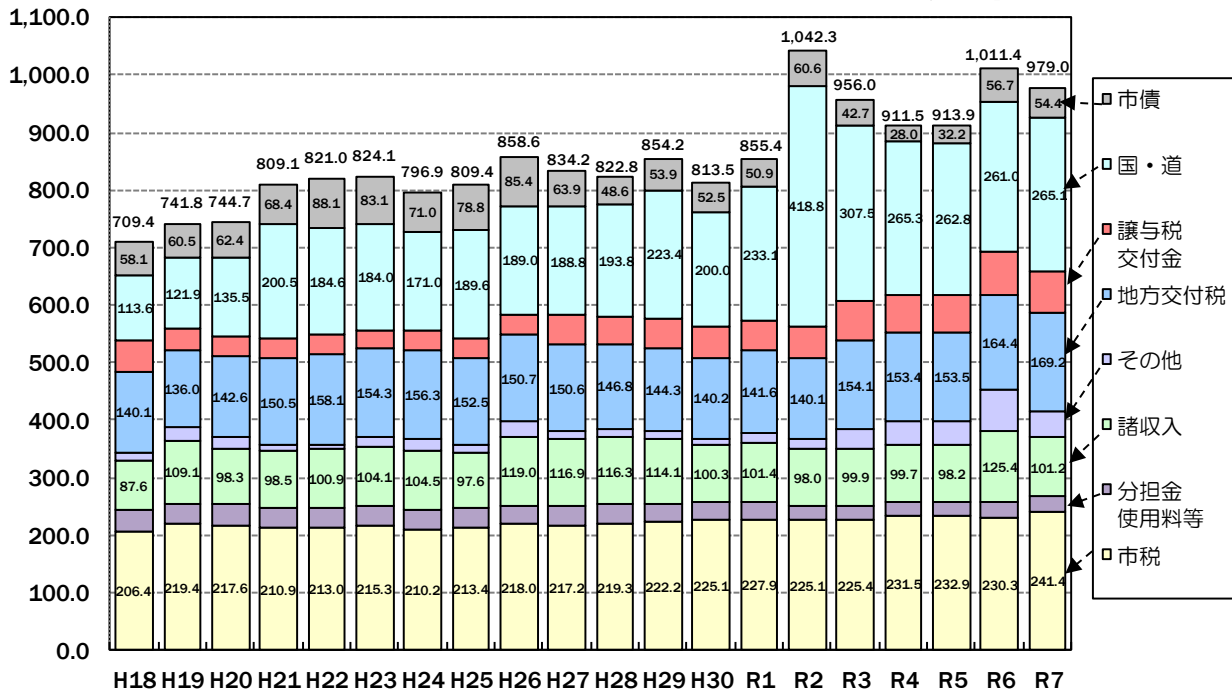
令和 7 年度の収入の特徴はななに？

昨年度と比較すると、全体で約 32 億円減ったよ。  
これは、令和 6 年度にあった高等教育整備基金の廃止による  
残高の繰入れや、ごみ処理施設整備のための分配金等の収入  
が令和 7 年度には無かったことが影響しているよ。



#### ◇ 歳入の推移

(単位：億円)



市の歳入構造は、三位一体の改革（p.28 用語解説参照）をはじめとする  
国の制度変更や、平成 20 年度に起こった世界的な金融危機などの影響  
を受けながら推移しているよ。主な歳入の推移をまとめてみたよ。



#### 主な歳入の特徴（平成 18 年度以降）

##### 市税

・市税は、平成 18 年度まで概ね 210 億円弱で推移していましたが、平成 19 年度に所得税から個人住民税への税源移譲があり大幅な増収となりました。その後、世界的な金融危機の影響などにより減収となった年度もありましたが、個人市民税などの伸びにより平成 29 年度以降は 220 億円を上回っています。令和 2 年度は新型コロナウイルス感染拡大、令和 6 年度は定額減税の影響により一時的な減収がありましたが、個人市民税の伸びにより、概ね増収傾向にあります。

##### 地方交付税

・地方交付税は、三位一体の改革の影響により減少しましたが、その後、算定率や算定項目が変更となり、平成 21 年度以降は 150 億円台で推移しました。平成 28 年度に 8 年ぶりに 150 億円台を割り込み、減少傾向が続きましたが、近年は、物価や人件費の上昇などの財政需要の拡大や臨時財政対策債償還基金費の追加交付などに応じて増加傾向にあります。

##### 国・道支出金

・国・道支出金は、三位一体の改革の影響により減少傾向にありましたが、平成 21 年度は国の経済対策により大幅に増加しました。平成 22 年度以降は概ね 170～190 億円台で推移し、平成 29 年度以降は国の産地パワーアップ事業補助金の活用などにより 200 億円を上回っています。令和 2 年度以降は新型コロナウイルス感染症対策に伴い大幅に増加し、令和 7 年度も物価高騰対策などにより高い水準となりました。

##### 市債

・市債は、各年度の大型事業や国の経済対策の影響により発行額が増減します。屋内スピードスケート場（H19～21）の建設、学校給食センターの移転改築（H25～26）などのために市債を発行し、令和 2 年度は、市税等の減収に伴う猶予特例債や減収補てん債を発行しました。令和 4 年度以降は、大型の整備事業が限られていたことにより低水準でしたが、令和 6～7 年度は小中学校に空調を整備したことなどにより、発行額が増加しました。



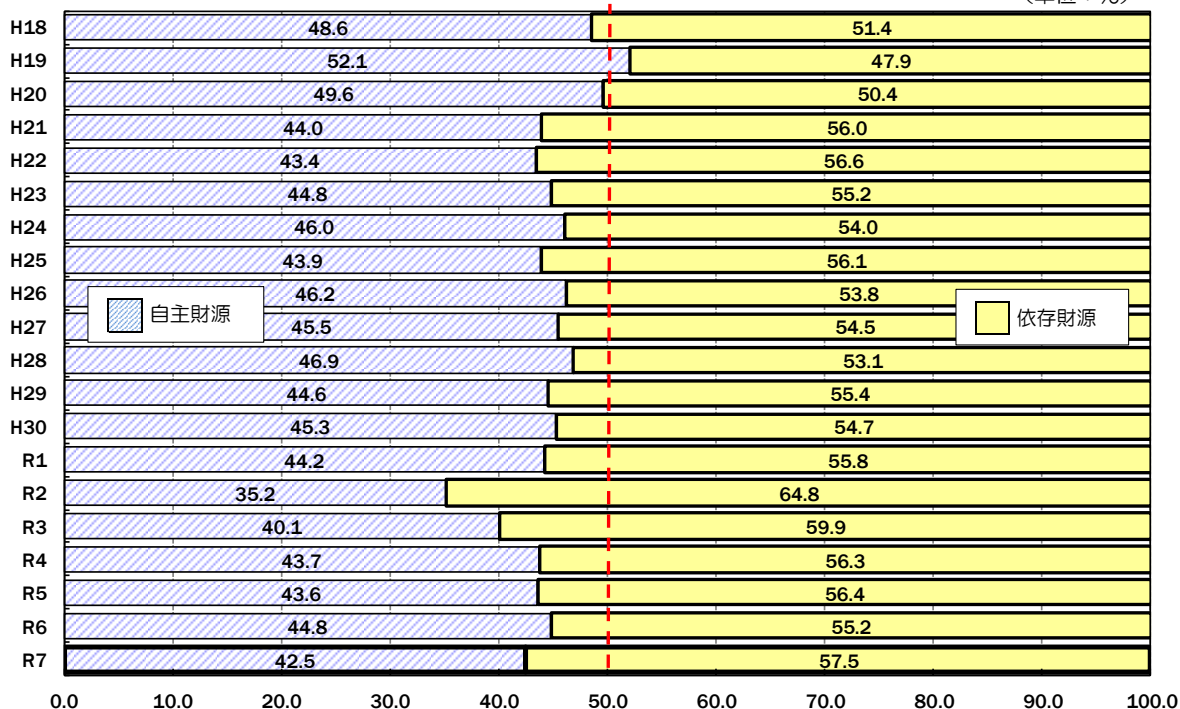
自主財源はどんな状況になっているの？

自主財源の比率は、社会保障関係費の増加などによって、50%を下回る状態が続いていて、令和2年度以降は、新型コロナウイルス感染拡大や物価高騰対策に伴う国・道支出金の増加により、さらに低下しているよ。令和6年度は、高等教育整備基金の廃止による繰り入れなどで一時的に自主財源が増えているよ。



# ◇ 自主財源比率の推移

(単位：%)



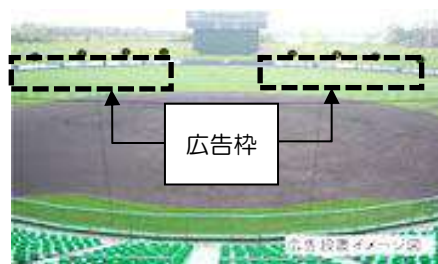
帯広市では市税などの収納率の向上対策に取り組むとともに、広告収入やネーミングライツなどの新たな自主財源の確保にも取り組んでいるよ。



自販機の設置場所入札



帯広の森野球場広告



自主財源確保の取組事例

ネーミングライツ（施設命名権）

よつ葉アリーナ十勝



明治北海道十勝オーバル



### 3 歳出（支出）の状況

帯広市の支出にはどんなものがあるの？

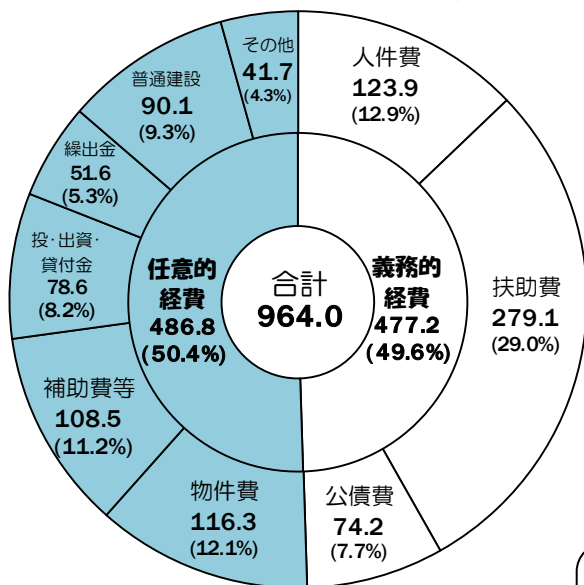


社会保障などのための扶助費、借金の返済に充てる公債費、道路や施設を建設・整備する普通建設費、人件費などがあるよ。



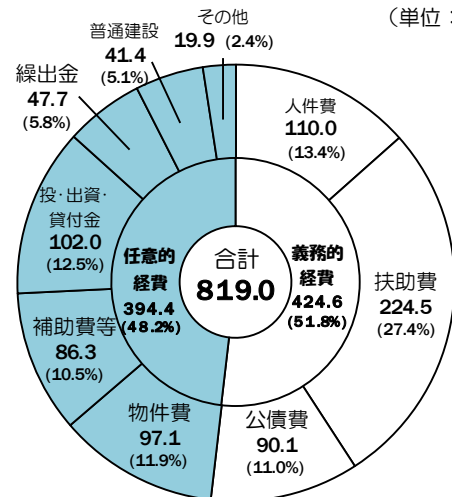
◇令和7年度普通会計決算額＜歳出＞

(単位：億円)



◇平成28年度普通会計決算額＜歳出＞

(単位：億円)

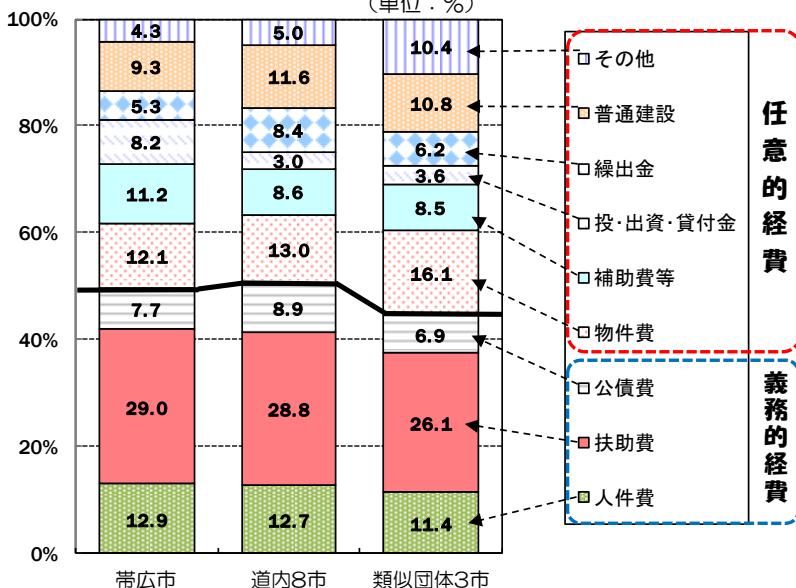


平成28年度と比較すると、物価高騰対策などにより、扶助費が増加しているよ。

\*各歳出項目の説明は p.28（用語解説）参照

◇令和7年度歳出決算額に占める構成比＜道内8市、類似団体との比較＞

(単位：%)



※道内8市とは、旭川市、函館市、釧路市、苫小牧市、小樽市、北見市、江別市、室蘭市

※道内8市、類似団体については速報値



歳出は、支出が義務づけられている経費（義務的経費）と義務づけられていない経費（任意的経費）に分けることができます（p.28 用語解説参照）。

帯広市の歳出決算額に占める義務的経費の割合は、道内8市の平均と比較するとやや低く、類似団体平均と比較するとやや高くなっています。



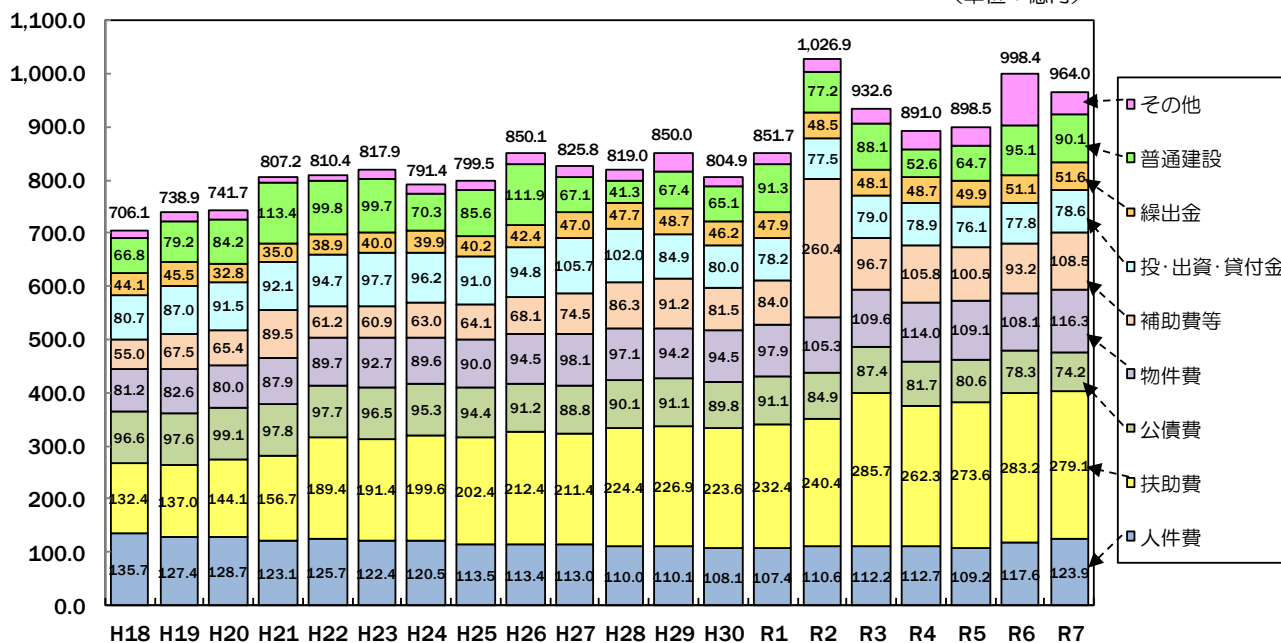
令和7年度の支出の特徴はなに？

全体では、令和6年度より約34億円減少したんだ。  
ごみ処理施設整備のための分配金の基金への積み立てが無くなって、「その他」が減少しているけれど、物価高騰等の影響で、物件費や人件費が増加傾向にあるよ。



#### ◇ 歳出の推移

(単位：億円)



平成18年度以降の歳出の特徴もまとめてみたよ。  
扶助費はこの20年で約2.1倍になっているんだ。



#### 主な歳出の特徴（平成18年度以降）

##### 扶助費

- 生活保護費や障害者福祉費などの扶助費は、高齢化の進行などにより、増加する傾向にあります。平成22年度はこども手当の創設により大きく増加し、平成28～29年度は消費税率引き上げによる影響を緩和するため、所得の少ない方に対して臨時福祉給付金を支給したことにより増加しています。令和3年度からは、新型コロナウイルス感染症や物価高騰対策として、給付金などを支給したことにより、増加しています。

##### 普通建設

- 普通建設事業費は、各年度の大型事業や国の経済対策で増減します。平成18年度以降では屋内スピードスケート場（H19～21）の建設、学校給食センターの移転改築（H25～26）、大空学園義務教育学校の増築・長寿命化（R2～3）等を行いました。令和6～7年度は、小中学校へ空調を整備したことなどにより増加しています。

##### 補助費等

- 十勝圏複合事務組合や他団体への負担金・補助金などの補助費等は、概ね60億円前後で推移していましたが、平成21年度に定額給付金の支給により一時的に増加したほか、平成28年度以降はとかち広域消防事務組合への分担金により増加しています。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策として特別定額給付金を支給したことなどにより、大幅に増加しました。

##### 投・出資・貸付金

- 地元中小企業への貸付金などは、景気対策として融資枠を拡充してきたことなどから増加してきましたが、平成29年度以降は中小企業振興融資貸付金の減少などに伴い減少し、近年では概ね横ばいで推移しています。

##### 人件費

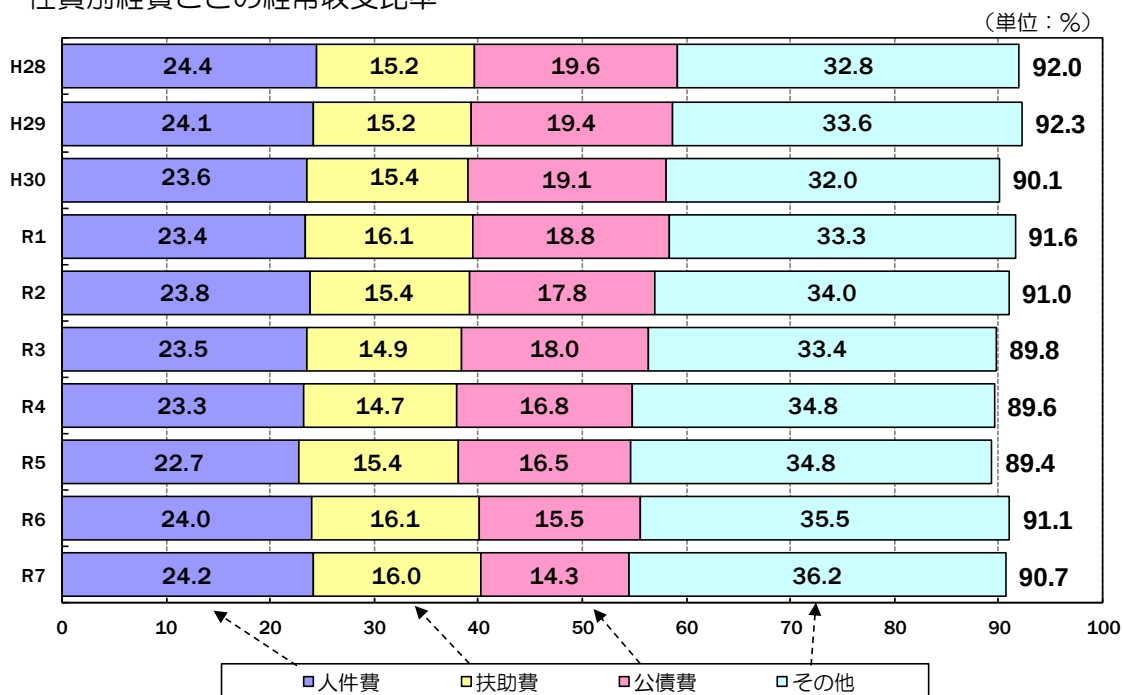
- 人件費は、職員定数の適正化や給与改定などにより、令和元年度まで減少傾向にありましたが、令和2年度以降は、会計年度任用職員制度が導入されたことなどにより増加しています。令和6年度以降は人事院勧告に基づく給与改定などにより増加しています。

他に支出の状況を分析するものはないの？

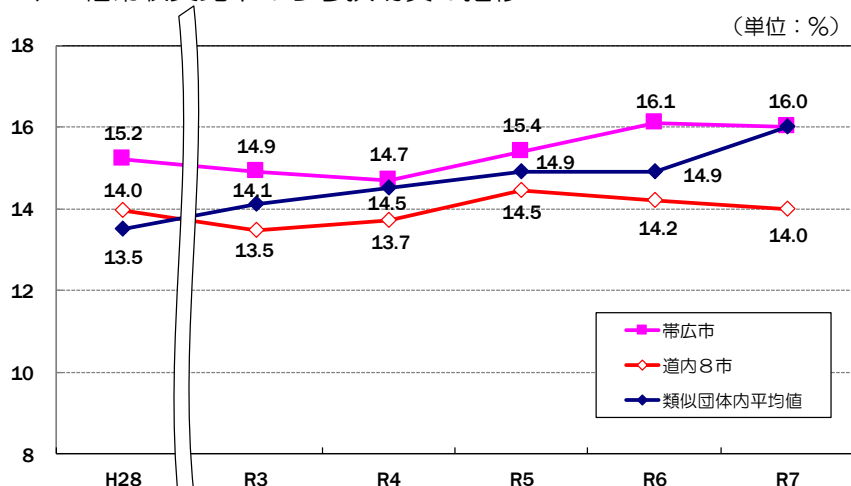


毎年継続的に入ってくる収入が、毎年継続的に支払われる支出にどれくらい充てられたかを見る「経常収支比率」というものがあるよ。この比率は小さいほど財政の弾力性が高い（自由に使える余地が大きい）と言えるよ。

#### ◇ 性質別経費ごとの経常収支比率



#### ◇ 経常収支比率のうち扶助費の推移



※道内8市、類似団体の令和7年度の比率については速報値

性質別経費ごとの経常収支比率を平成28年度と比べると、公債費が減少しています。

扶助費は、高齢化の進行などにより増加傾向であり、道内8市の平均と比べて高くなっています。

これからも、収入の確保や効率的な支出に努めて、限られた財源の中で、様々な行政ニーズに対応していくほか、十勝・帯広の魅力的な地域資源を最大限に活かしながら、地域を元気にするまちづくりを進めていくよ。



## 4 基金（貯金）の状況

帯広市の貯金はどれくらいあるの？

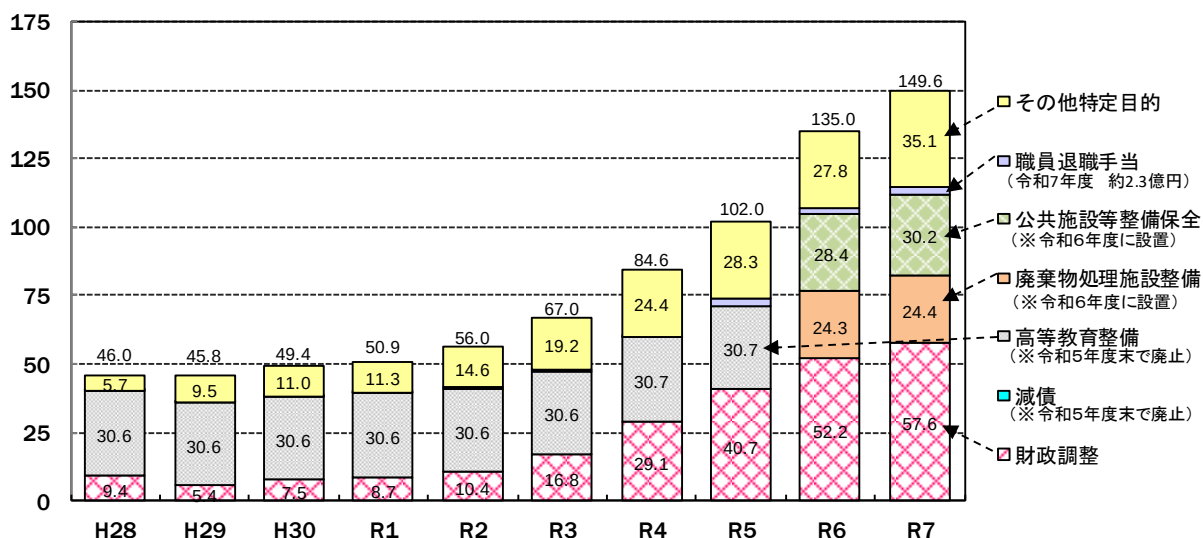


基金という貯金が、令和7年度末で約150億円あるよ。  
現在、普通会計には、全部で18の基金があって、「ふるさと納税」による寄附金も基金の積み立て原資になっているんだ。



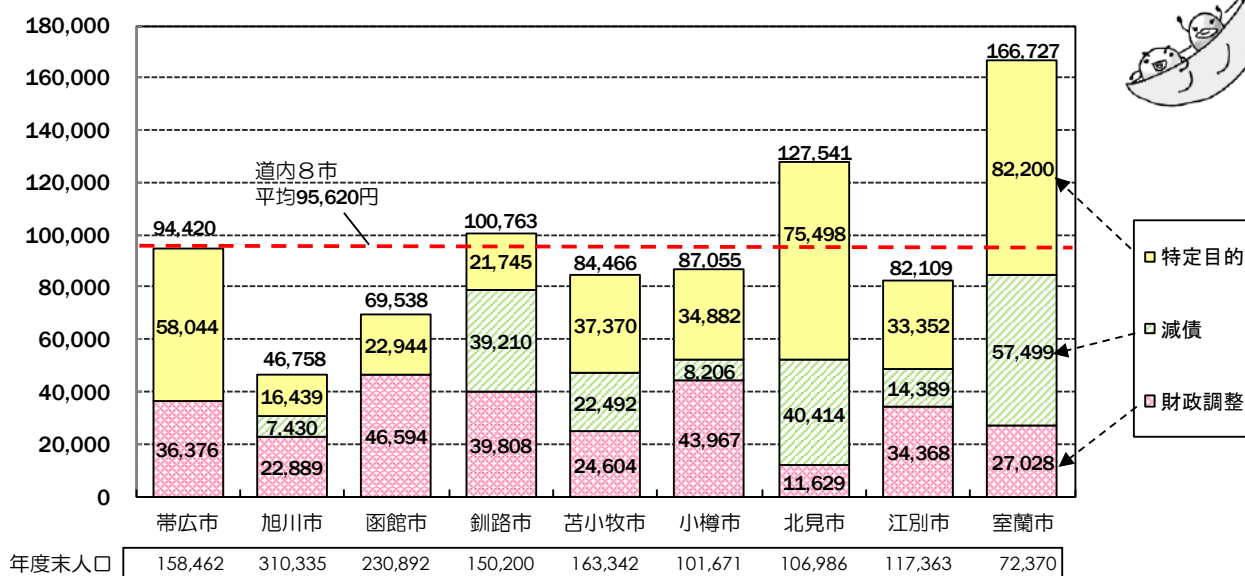
### ◇ 普通会計基金残高の推移

(単位：億円)



### ◇ 道内8市 一人当たり基金残高比較

(単位：円)



年度末人口 158,462 310,335 230,892 150,200 163,342 101,671 106,986 117,363 72,370

※道内8市については速報値

帯広市の貯金を市民一人あたりにすると、約9万4千円になるよ。  
道内8市の平均よりわずかに少ないね。

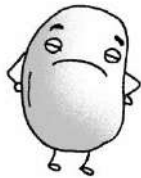


## 5 市債（借金）残高の状況



帯広市の借金はどれくらいあるの？

借金（市債）は、令和 7 年度末で約 656 億円あるんだ。



借ったお金はどんなことに使っているの？

主に施設や道路などのみんなが何年にも渡って利用できる財産になっているよ。市債は、施設の耐用年数を考慮して長期の返済が許されているから、将来の税収などから毎年少しずつ分散して負担することができるよ。



### 市債を活用した主な事例

毎年の返済額や将来の負担を考慮し、経済状況や様々な政策課題へ対応するため、計画的な発行に努めています。

大空学園義務教育学校

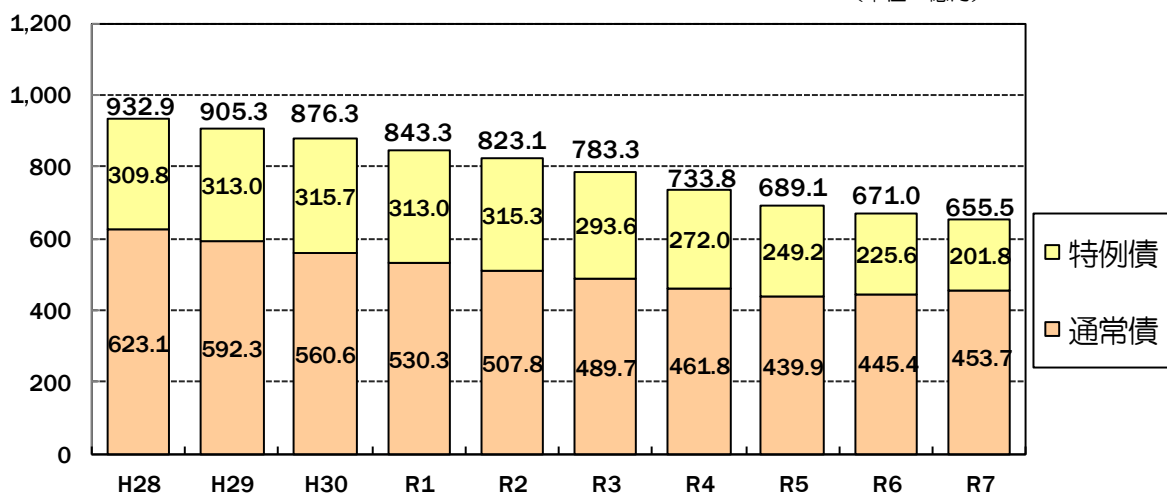


学校給食センター



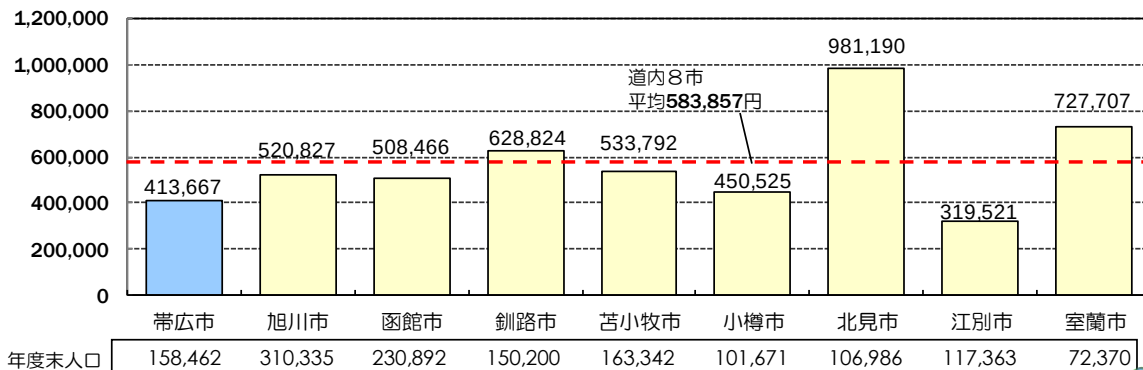
### ◇ 普通会計市債残高の推移

（単位：億円）



### ◇ 道内 8 市 一人当たり市債残高比較

（単位：円）



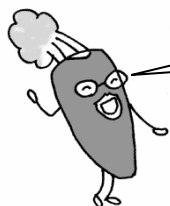
※道内 8 市については速報値



帯広市の借金を市民 1 人当たりにすると約 41 万円で、道内 8 市の平均よりも少ないんだ。



## 6 財政指標の状況



帯広市の財政は他の市と比べるとどうなっているの？

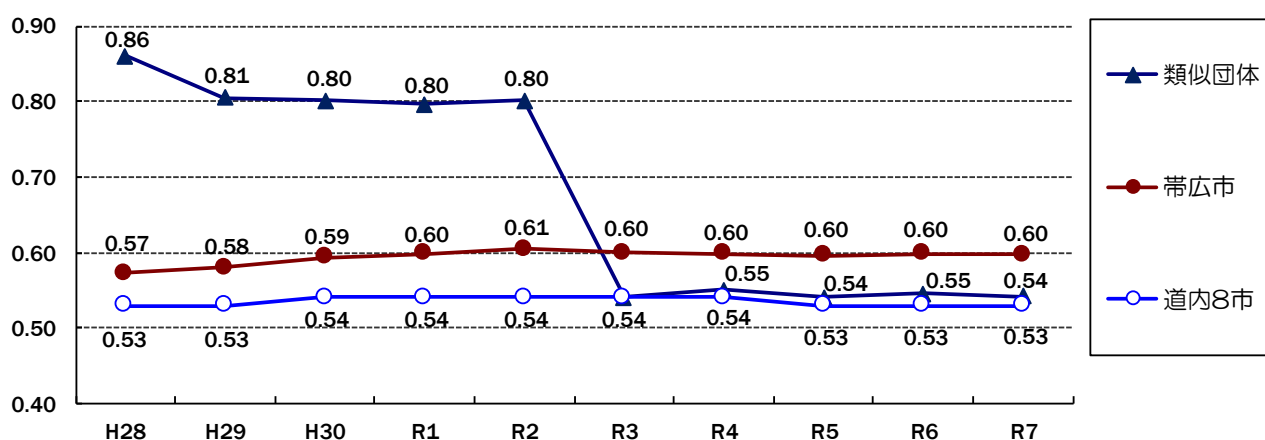
財政状況を比べるために財政指標というものがあるよ。  
下のグラフは代表的な2つの指標を比較したものだよ。



### 財政力指数

財政力指数は、必要な収入をどのくらい自前で調達できるかを見るもので、数値が大きいほど財政力が強い（自力がある）ことを示します。

帯広市は、道内8市や類似団体の平均を上回っています。（令和3年度より類似団体の構成が見直されています。）



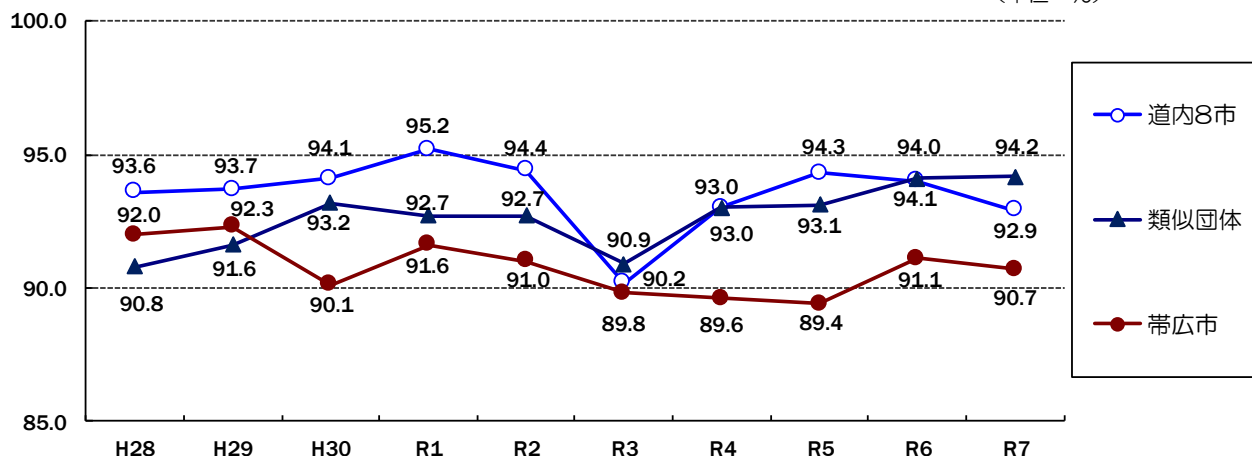
※道内8市、類似団体の令和7年度の比率については速報値



### 経常収支比率

経常収支比率は、毎年継続的に入ってくる収入のうち、毎年継続的に支払われている支出に充てた割合を指すもので、比率が高いほど他の政策的な経費にまわすことができる金額が減り、財政の硬直化が進んでいると言えます。帯広市は、近年90%程度で推移しています。これは道内8市や類似団体の平均より低くなっています。

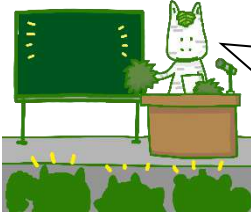
（単位：％）



※道内8市、類似団体の令和7年度の比率については速報値

# 7 健全化判断比率

他に財政状況を示す指標はないの？



市町村の財政状況を下の4つの指標により公表することが義務付けられているんだ。これにより、地方公共団体全体の財政状況や、将来にわたる負担状況などがわかるんだよ。



◇健全化判断比率（令和7年度決算）

（単位：％）

|                      | 実質赤字比率       | 連結実質赤字比率      | 実質公債費比率<br>(3カ年平均) | 将来負担比率 |
|----------------------|--------------|---------------|--------------------|--------|
| 帯広市                  | —<br>(△3.00) | —<br>(△17.02) | 7.9                | 4.2    |
| 早期健全化基準<br>(イエローカード) | 11.36        | 16.36         | 25.0               | 350.0  |
| 財政再生基準<br>(レッドカード)   | 20.00        | 30.00         | 35.0               |        |

健全なのかな？



※実質赤字比率及び連結実質赤字比率は、黒字決算の場合「—」と表示されます。  
また、括弧内に算定比率をマイナス表示します。

◇健全化判断比率の算定対象範囲

| 会計区分         | 健全化判断比率  |
|--------------|----------|
| 一般会計         | 実質赤字比率   |
| 特別会計         | 連結実質赤字比率 |
| 公営企業会計       | 実質公債費比率  |
| 一部事務組合・広域連合  | 将来負担比率   |
| 地方公社・第三セクター等 |          |

実質赤字比率

一般会計等の実質的な赤字額が、標準的な収入に対してどのくらいの割合になるかを示す指標。

連結実質赤字比率

一般会計、特別会計、企業会計を含めた全会計の実質的な赤字額が、標準的な収入に対してどのくらいの割合になるかを示す指標。

実質公債費比率

一般会計等が負担する長期借入金の返済やそれに準ずる支出が、標準的な収入に対してどのくらいの割合になるかを示す指標。

将来負担比率

一般会計等が抱える実質的な負債の残高が、標準的な収入に対してどのくらいの割合になるかを示す指標。



いずれの指標についても、早期健全化基準を大幅に下回っているよ。他都市と比べると、実質公債費比率が少し高いので、今後も健全な財政運営に努めていく必要があるんだ。

健全化判断比率

※令和7年度決算に基づく比率

|      | 実質赤字比率    | 連結実質赤字比率   | 実質公債費比率 | 将来負担比率 |
|------|-----------|------------|---------|--------|
| 旭川市  | - (△1.50) | - (△3.76)  | 8.7     | 79.0   |
| 函館市  | - (△2.42) | - (△16.72) | 4.9     | 37.2   |
| 釧路市  | - (△0.20) | - (△21.21) | 9.8     | 34.7   |
| 苫小牧市 | - (△3.06) | - (△12.48) | 9.0     | 79.8   |
| 小樽市  | - (△3.96) | - (△15.84) | 3.4     | 23.2   |
| 北見市  | - (△2.08) | - (△12.30) | 12.3    | 134.1  |
| 江別市  | - (△5.11) | - (△12.65) | 4.2     | -      |
| 室蘭市  | - (△4.95) | - (△10.11) | 9.2     | 56.4   |
| 8市平均 | - (△2.91) | - (△13.13) | 7.7     | 55.6   |
| 類似団体 | - (△2.71) | - (△16.06) | 6.9     | 19.2   |
| 帯広市  | - (△3.00) | - (△17.02) | 7.9     | 4.2    |

|       |   |   |     |      |
|-------|---|---|-----|------|
| 全道市町村 | - | - | 7.2 | 16.6 |
| 全国市町村 | - | - | 5.6 | 6.2  |

※道内8市、類似団体は速報値

※全道・全国市町村は令和6年度決算値

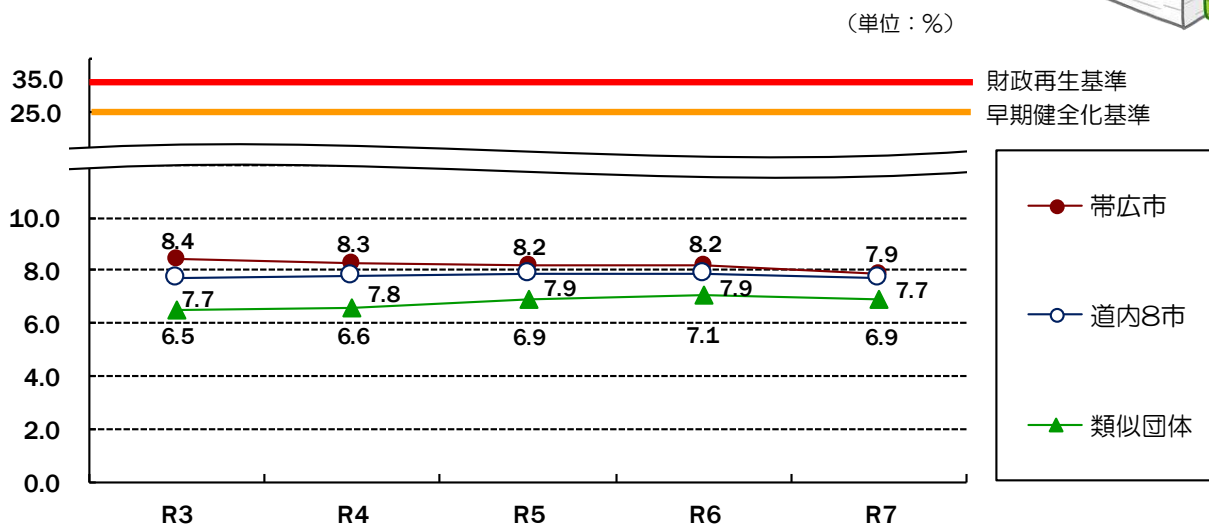


借金はちゃんと返しているの？

借金（市債）は計画どおりに返済していて、その年に返す借金と収入の割合（実質公債費比率）は、低下傾向にあるよ。



#### ◇ 実質公債費比率の推移



※道内8市、類似団体の令和7年度の比率については速報値

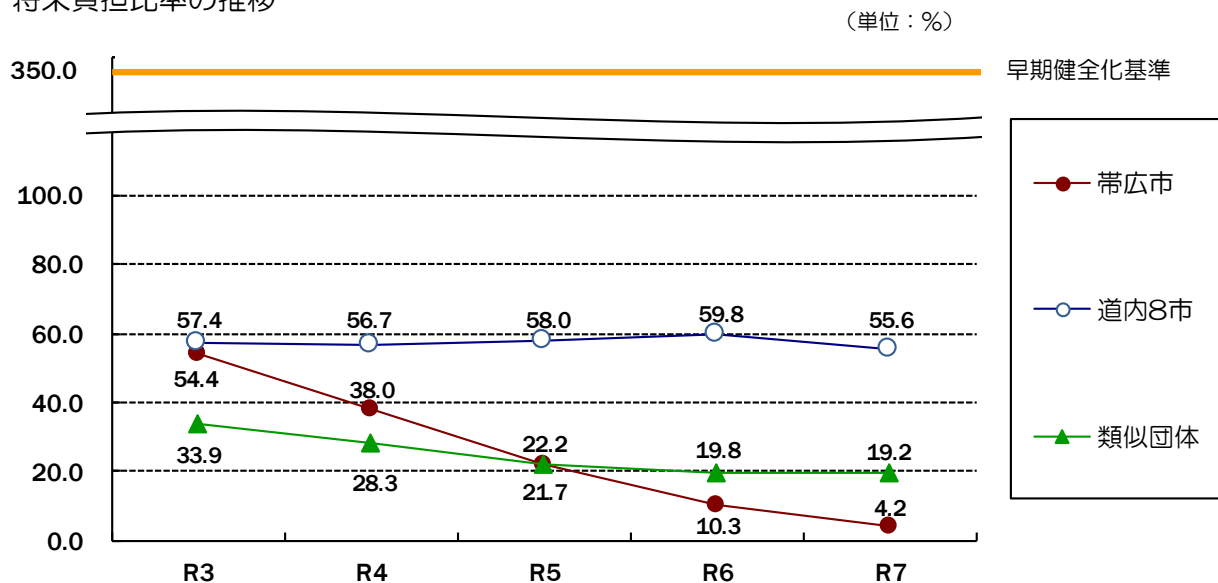


借金は増えていないの？

10ページにあるように、市税などで返済する借金は減少傾向で、その結果、収入に対する将来負担額の割合（将来負担比率）も低下傾向にあるよ。

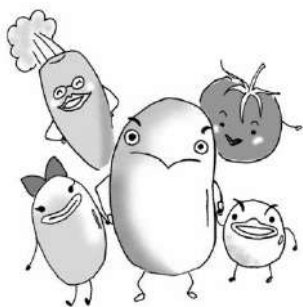


#### ◇ 将来負担比率の推移



※道内8市、類似団体の令和7年度の比率については速報値

## 8 ま と め

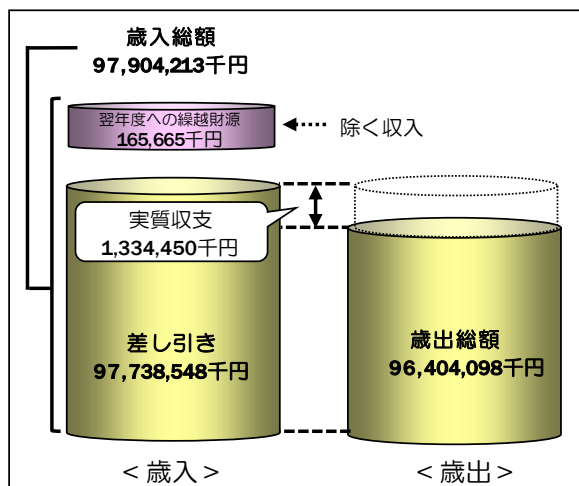


令和7年度は黒字だったの？

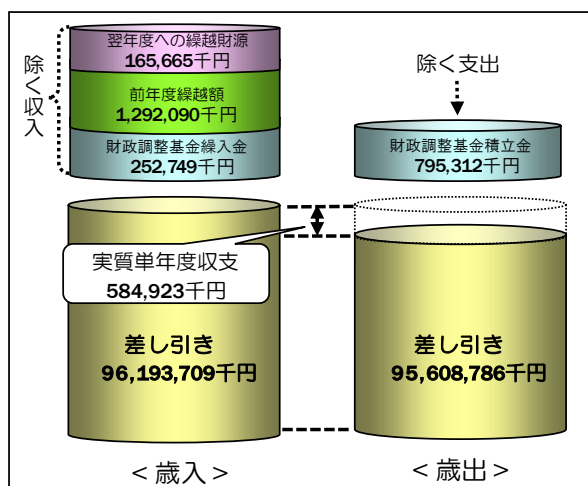
2ページの決算収支のグラフにもあるとおり、令和7年度は13億3,445万円の黒字（実質収支）になったよ。また、貯金（財政調整基金）の積立や前年度からの繰越金などがなかったと仮定した場合は5億8,492万円の黒字（実質単年度収支）になったんだ。



### ◇実質収支



### ◇実質単年度収支



### 全体として・・・

令和7年度決算は、実質収支が13億3,445万円の黒字、実質単年度収支は5億8,492万円の黒字となりました。経常収支比率は90.7%で、公債費等の減少のため前年度より減少していますが、前年度と概ね同水準です。

健全化判断比率は、いずれも早期健全化基準を下回っており、健全な財政状況を維持していると言えます。市税などで返済する借金が着実に減少してきており、将来負担比率は4.2%と前年度より改善しました。

しかし、これまで見てきたように、帯広市の財政は自主財源比率が50%を下回っており、地方交付税をはじめ国の影響を受けやすい構造であるほか、経常収支比率は90%前後で推移しており、財政の弾力性が低い状況が続いています。

こうしたことから、将来を見据えたまちづくりの推進に向けて、引き続き健全な財政運営をこころがけ、市税をはじめとする自主財源の確保に努めるとともに、事業の選択と集中を図りながら、各種施策の推進に取り組んでいきます。

## 【コラム】基金の運用

帯広市では、普通会計に属さない基金も合わせて、24の基金があり、これらを一括して運用しています。基金は、最も確実かつ有利な方法によって保管する必要があり、銀行預金や市の日常の資金繰りに使用する繰替運用の他、債券（国債）の保有による運用も行っています。

債券運用では、元本の確実な保全を最優先とし、突発的な資金需要への対応や、運用収益の確保にも配慮した運用を行うことを基本方針としています。



基金運用実績

| 区分         | 令和6年度     | 令和7年度     |
|------------|-----------|-----------|
| 基金残高(a)    | 228.5 億円  | 259.2 億円  |
| 現金         | 194.7 億円  | 151.6 億円  |
| 債券         | 33.8 億円   | 107.6 億円  |
| うち1年以内に償還  | (29.9 億円) | (99.7 億円) |
| 運用益(b)     | 10,023 千円 | 67,259 千円 |
| 運用利回り(b/a) | 0.044%    | 0.260%    |

※基金残高、現金、債券は各年度3月31日現在

※現金は預金及び繰替運用の合計

※運用益は各年度中に生じた基金の運用益の合計





## 令和7年度の主な事業の内容

帯広市が令和7年度に行った主な事業について、  
第七期帯広市総合計画の位置づけに沿って紹介します。





※拡充事業は、拡充額を事業費としています。

## I ともに支え合い、子どもも大人も健やかに暮らせるまち

(単位 千円)

| 事業名                    | 拡充 | 事業費    | 事業内容                                           |
|------------------------|----|--------|------------------------------------------------|
| ひきこもり支援事業              | ○  | 53     | ・ひきこもり当事者への就労体験等の実施                            |
| 住居確保給付事業               | ○  | 108    | ・生活困窮者に対し、家賃が低廉な住宅への転居を支援                      |
| 障害者理解促進事業              | ○  | 4,989  | ・手話言語条例制定10周年を契機とした障害者理解の促進を目的としたイベントの実施       |
| 地域子育て相談機関整備事業          |    | 1,413  | ・地域子育て支援センターに地域子育て相談機関を併設                      |
| 児童保育センター運営事業           | ○  | 21,642 | ・待機児童の解消に向けたクラブの追加開設（花園児童保育センター、つつじが丘児童保育センター） |
| 公立保育所民間移管事業            |    | 21,840 | ・豊成保育所の民間移管に向けた準備                              |
| 地域介護・福祉空間整備事業          |    | 6,134  | ・認知症高齢者グループホームにおける冷房設備整備の支援<br>・共生型地域福祉拠点整備の支援 |
| 子育て支援事業                |    | 3,992  | ・物価高騰下の児童保育センター等における地域子ども・子育て支援事業の安定的事業運営継続を支援 |
| 私立保育所（園）運営事業・夜間保育所運営事業 |    | 2,450  | ・物価高騰下の保育所等における安定的な食事の質確保と教育・保育継続を目的とした運営を支援   |
| 産後ケア事業                 |    | 6,463  | ・産後ケア事業の利用期間や利用方法等の変更                          |
| HPVワクチンキャッチアップ接種事業     |    | 8,465  | ・HPVワクチンのキャッチアップ接種期間の延長                        |
| 带状疱疹ワクチン接種事業           |    | 47,185 | ・带状疱疹ワクチンの定期接種化                                |
| 新型コロナウイルスワクチン接種事業      |    | 31,338 | ・新型コロナウイルスワクチンの定期接種の実施                         |

## II 活力とにぎわいと挑戦があるまち

| 事業名                         | 拡充 | 事業費     | 事業内容                                                                                                                              |
|-----------------------------|----|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 奨学金返済支援制度促進事業               |    | 245     | ・新規採用者の奨学金返済を支援する市内企業を支援                                                                                                          |
| 営農技術向上対策事業                  |    | 1,112   | ・環境にやさしい栽培技術と省力化に資する先端技術等を取り入れたグリーンな栽培体系への転換に向けた取り組みを支援                                                                           |
| 農業生産体制強化総合推進対策事業            |    | 655,031 | ・国産需要の高い作物の生産拡大や安定供給体制構築のための営農技術の導入、生産基盤の強化等のための農業機械の導入、収益性向上のための施設整備等に対する支援<br>・「第13回全国和牛能力共進会北海道大会」の審査会場となるアグリアリーナの照明LED化の整備を支援 |
| 消防団詰所・農業センター複合化施設整備事業       |    | 356,300 |                                                                                                                                   |
| 川西第2分団詰所・上帯広農業センター複合化施設整備事業 |    | 40,469  | ・川西第2分団詰所と上帯広農業センター複合化施設整備に伴う既存施設の解体                                                                                              |
| 大正第2分団詰所・愛国農業センター複合化施設整備事業  |    | 315,831 | ・老朽化に伴う大正第2分団詰所と愛国農業センターの複合化施設の建設工事等                                                                                              |
| 黒毛和牛生産振興事業                  |    | 2,759   | ・「第13回全国和牛能力共進会北海道大会」の開催に向けた実行委員会への支援等                                                                                            |



※拡充事業は、拡充額を事業費としています。

(単位 千円)

| 事業名                   | 拡充 | 事業費     | 事業内容                                                                                     |
|-----------------------|----|---------|------------------------------------------------------------------------------------------|
| 八千代公共育成牧場整備事業         |    | 10,287  | ・自給飼料の増産及び質の向上のための採草地更新等を支援                                                              |
| 多面的機能支払推進事業           | ○  | 14,244  | ・農業用水等の資源の保管理及び農村環境の保全向上の取組みに対する支援                                                       |
| 道営水利施設等保全高度化事業        |    | 297,703 | ・担い手の育成・支援と生産性・収益性の向上を図るため、農業基盤整備を実施                                                     |
| 森林整備促進事業              |    | 28,465  | ・森林整備及び担い手確保等を支援するため、高性能林業機械の購入費に対する補助等を実施                                               |
| 林業専用道開設事業             |    | 12,969  | ・森林整備を進めるため、林業専用道を開設                                                                     |
| 事業創発拠点事業              |    | 11,945  | ・創業・起業等の新たなチャレンジに向けた情報交換や勉強会等を行える拠点施設「LAND」の管理及び運営                                       |
| 産学官連携促進事業             |    | 82,833  | ・帯広畜産大学を中心に、農畜産業の生産性向上や省力化、食の付加価値向上等に向けた取り組みを実施                                          |
| フードバレーとかち構想推進事業       |    | 8,717   | ・乳の価値向上の推進、産業振興支援コーディネート、学び直しを支える環境づくり事業の支援、十勝ファンの知見を活かす仕組みの構築                           |
| 十勝・イノベーション・エコシステム推進事業 |    | 35,457  |                                                                                          |
| フードバレーとかち人材育成事業       |    | 5,157   | ・帯広畜産大学と連携し、食・農畜産業分野での新製品開発や販路拡大などの実践的な講義や実習を行うことにより地域の経済発展に寄与する人材を育成                    |
| とかち・イノベーション・プログラム     | ○  | 10,000  | ・十勝地域で新たな事業創発・起業を目指す人材が新事業の構想を練り上げるプログラムの実施<br>・専門家による事業化や規模拡大に向けた伴走支援                   |
| 十勝ドリームマップ会議           |    | 5,300   | ・事業創発のモチベーションの向上と新たな人脈形成につなげるため、十勝の起業家人材とイノベーターによる交流イベントを開催                              |
| 総合コーディネート機能整備事業       |    | 15,000  | ・とかち財団に起業希望者の総合的なワンストップ窓口となるコーディネーターを配置                                                  |
| 観光客誘致宣伝推進事業           |    | 145,752 | ・観光需要創出のための国内外向けのプロモーション等の実施<br>・国際定期便の就航に併せた路線バス運行及び空港等への交通情報を表示するデジタルサイネージの設置や航空会社への支援 |
| アイヌ伝統舞踊観光コンテンツ化事業     |    | 10,000  | ・アイヌ舞踊の収益化に向けた公演開催等の支援                                                                   |
| アドベンチャーツーリズム受入体制整備事業  |    | 1,000   | ・アウトドアガイド等の人材の育成                                                                         |
| サイクルツーリズム推進事業         |    | 1,915   | ・サイクルツーリズム推進に向けたイベントやPR広告の実施                                                             |
| インバウンド受入体制整備事業        |    | 5,999   | ・中心市街地におけるインバウンド受入体制の整備に向けた実態調査及び多言語パンフレットを作成                                            |
| 空港整備事業                |    | 399,509 | ・滑走路端安全区域整備及び車両基地更新工事の実施                                                                 |



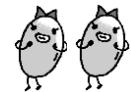


※拡充事業は、拡充額を事業費としています。

### Ⅲ ともに学び、輝く人を育むまち

(単位 千円)

| 事業名                   | 拡充 | 事業費     | 事業内容                                        |
|-----------------------|----|---------|---------------------------------------------|
| 部活動指導員配置事業            | ○  | 4,106   | ・教職員の負担軽減等を目的に部活動指導員を配置                     |
| 学校保健事業                |    | 1,486   | ・全小学校でのフッ化物洗口の実施に向けた、実施方法の見直し及びモデル校(4校)での試行 |
| 学校施設長寿命化改修事業          |    | 244,789 |                                             |
| 南町中学校整備事業             |    | 179,086 | ・生徒数の増加や施設の老朽化に対応した南町中学校の増築棟の整備             |
| 個別改修事業                |    | 65,703  | ・劣化状況に対応した学校の設備等の改修・更新                      |
| 学校環境整備事業              |    | 876,663 |                                             |
| 体育館等照明更新事業            |    | 69,080  | ・体育館及びプール照明のLED化                            |
| 学校施設空調整備事業            |    | 807,583 | ・健康で安全な教育環境の確保のため中学校の普通教室等にエアコンを設置          |
| ICT教育環境整備事業           |    | 229,003 | ・GIGAスクール構想に基づき整備した「一人一台端末」の更新              |
| とかちプラザ施設整備事業          |    | 123,746 |                                             |
| 中央監視装置更新事業            |    | 66,546  | ・老朽化した中央監視装置等の更新                            |
| レインボーホール舞台吊物機構改修事業    |    | 57,200  | ・老朽化したレインボーホール舞台吊物機構の改修                     |
| 図書館施設整備事業             |    | 20,350  | ・老朽化した自動空調制御装置の更新                           |
| 児童会館施設整備事業            |    | 12,474  | ・蛍光管照明等のLED化の実施及び既存展示品の修繕                   |
| 動物園魅力アップ事業            |    | 83,886  |                                             |
| 馬ふれあい舎整備事業            |    | 1,915   | ・十勝らしい家畜の展示とふれあい体験の充実のため、道産子2頭を導入           |
| 東側こども広場整備事業           |    | 56,197  | ・乳幼児連れ親子に配慮した休憩施設の整備                        |
| 園路整備事業                |    | 19,745  | ・入園者が安全かつ快適に過ごすことができるよう園路を整備                |
| 照明器具LED化事業            |    | 6,029   | ・水銀灯等のLED化の実施                               |
| 2025フードバレーとかちマラソン開催事業 |    | 13,874  | ・スポーツ機会の提供と多様な交流を促進するため、マラソン大会を開催           |
| 総合型地域スポーツクラブ育成事業      | ○  | 200     | ・新規スポーツクラブ立ち上げに対する運営費を補助                    |



※拡充事業は、拡充額を事業費としています。

(単位 千円)

| 事業名                       | 拡充 | 事業費     | 事業内容                        |
|---------------------------|----|---------|-----------------------------|
| 社会体育施設整備事業                |    | 168,384 |                             |
| 帯広の森陸上競技場整備事業             |    | 7,645   | ・老朽化に伴う陸上競技場の大規模改修工事に係る実施設計 |
| 帯広の森屋内スピードスケート場照明器具LED化事業 |    | 142,767 | ・メタルハライドランプ等のLED化の実施        |
| 帯広の森体育館中央監視盤更新事業          |    | 6,160   | ・帯広の森体育館の暖房制御を行う中央監視盤の更新    |
| 帯広の森市民プールのスコアボード更新事業      |    | 11,812  | ・帯広の森市民プール競泳用スコアボードの更新      |

#### Ⅳ 安全・安心で快適に暮らせるまち

| 事業名                  | 拡充 | 事業費     | 事業内容                                                                                                  |
|----------------------|----|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 避難行動要支援者支援体制構築事業     | ○  | 6,218   | ・避難行動要支援者向けの個別計画の作成                                                                                   |
| 地域防災強化事業             |    | 604,879 |                                                                                                       |
| 地域防災無線更新事業           |    | 428,560 | ・デジタル防災無線の更新<br>・戸別受信機の導入                                                                             |
| 指定避難所環境整備事業          |    | 167,530 | ・非常用発電機の整備工事（13か所）                                                                                    |
| 備蓄資材整備事業             |    | 8,789   | ・災害用備蓄品の更新及び購入                                                                                        |
| 国立公園保全対策事業           |    | 519     | ・日高山脈襟裳十勝国立公園における環境保全に向けた啓発の実施                                                                        |
| 新エネルギー導入促進事業         | ○  | 573     | ・太陽光発電システム、定置型蓄電池及び木質ペレットストーブの導入補助の拡充                                                                 |
| 新中間処理施設整備費分担金        |    | 600,846 | ・新たな一般廃棄物の中間処理施設を整備（実施主体：十勝圏複合事務組合）                                                                   |
| まちなか催事支援事業           |    | 1,931   | ・まちなかで行われる多様なイベント等を支援                                                                                 |
| 除雪機械整備事業             |    | 88,862  | ・除雪用のトラック及びグレーダーの更新                                                                                   |
| 都市計画制度推進事業           |    | 33,233  |                                                                                                       |
| 緑ヶ丘公園エリアビジョン推進事業     |    | 1,213   | ・緑ヶ丘公園エリアの魅力向上に向けた取り組みを検討するため、有識者による勉強会の開催や児童会館及び百年記念館のあり方検討に向けた視察等の実施                                |
| 立地適正化計画策定事業          |    | 9,460   | ・立地適正化計画の策定のため、都市構造上の課題分析・評価や、市民アンケートなどを行い、立地適正化計画における基本的な方針（案）を検討                                    |
| 帯広圏公共交通調査・サービス改善業務事業 |    | 22,560  | ・帯広圏1市3町において、持続可能な交通サービスと医療アクセスの向上を目指して、交通事業者等と連携し、医療機関等へのヒアリングや住民アンケート、交通データの分析から、圏域の交通課題を整理し、改善案を検討 |
| 公園管理運営事業             |    | 3,798   |                                                                                                       |
| 十勝池浄化対策              |    | 3,210   | ・十勝池のアオコ発生抑制のための浄化資材による池水浄化の試験実施                                                                      |
| グリーンパークカラス対策         |    | 588     | ・カラスによる芝生掘り起こし被害防止のため、捕食対象のコガネムシ幼虫の防除の試験実施                                                            |



※拡充事業は、拡充額を事業費としています。

(単位 千円)

| 事業名                             | 拡充 | 事業費       | 事業内容                                                  |
|---------------------------------|----|-----------|-------------------------------------------------------|
| 中島緑地整備事業                        |    | 61,401    | ・中島地区エコタウン整備エリアにおける緑地整備                               |
| 既存公園整備事業                        |    | 164,072   | ・園路の段差解消や多目的トイレ設置等の公園バリアフリー化<br>・公園施設長寿命化計画に基づく遊具等を整備 |
| 帯広の森利活用促進事業                     |    | 2,696     | ・帯広の森の間伐材で製造した乳児用の木製玩具の製造<br>・有識者を招聘した勉強会やイベントの実施     |
| 帯広の森整備事業                        |    | 27,753    | ・帯広の森の利活用のため園路等を整備                                    |
| 民間大規模建築物除却支援事業                  |    | 312,153   | ・民間大規模建築物（ふじまるビル）の除却支援                                |
| 公営住宅整備事業                        |    | 1,262,493 | ・大空団地4街区の整備（ヒルズ2号棟建設工事、丘6号棟除却等）<br>・ストック総合改善（北郊・若葉団地） |
| 生活交通路線維持確保事業                    |    | 173,935   | ・バス路線維持のための不採算路線に対する補助                                |
| 消防団詰所・農業センター複合化施設整備事業（再掲）       |    | 356,300   |                                                       |
| 川西第2分団詰所・上帯広農業センター複合化施設整備事業（再掲） |    | 40,469    | ・川西第2分団詰所と上帯広農業センター複合化施設整備に伴う既存施設の解体                  |
| 大正第2分団詰所・愛国農業センター複合化施設整備事業（再掲）  |    | 315,831   | ・老朽化に伴う大正第2分団詰所と愛国農業センターの複合化施設の建設工事等                  |
| 消防指令システム・デジタル無線機器更新事業           |    | 130,096   | ・消防指令システム及びデジタル無線機器の更新                                |

## V 市民主体のまちづくりと自治体経営

| 事業名             | 拡充 | 事業費     | 事業内容                                                                   |
|-----------------|----|---------|------------------------------------------------------------------------|
| 本会議・委員会運営事業     |    | 285     | ・議場傍聴席に字幕表示モニターを設置                                                     |
| 市役所庁舎管理事業       |    | 40,247  | ・庁舎設備更新・浸水対策基本調査<br>・外壁及び屋上防水工事に向けた実施設計<br>・庁舎の空調、電気、給排水を制御する中央監視装置の更新 |
| 大空会館移転改築事業      |    | 20,812  | ・大空会館の解体に向けたアスベスト調査<br>・移転改築に向けた実施設計                                   |
| 財産評価取得処分事業      |    | 25,993  | ・旧南商業高校跡地の売り払いに向けた用地確定測量、埋設物調査                                         |
| 自治体標準準拠システム移行事業 |    | 123,249 | ・戸籍や生活保護等の標準化システムへの移行<br>・その他システムの標準化移行に向けた調査及び設計                      |
| 宿泊税徴収支援事業       |    | 8,314   | ・宿泊税導入に向けた宿泊事業者のシステム改修等の経費を支援                                          |
| 宿泊税賦課準備事業       |    | 15,182  | ・宿泊税の賦課・収納管理に係るシステム開発<br>・特別徴収事業者説明会の実施                                |
| 戸籍振り仮名記載対応事業    |    | 35,770  | ・戸籍及び住民票への振り仮名追加に向けた体制の構築                                              |
| 窓口サービススマート化事業   | ○  | 3,536   | ・窓口手続きのオンライン予約システムの導入                                                  |
| マイナンバーカード交付事業   | ○  | 69,989  | ・マイナンバーカード等の更新手続き増加に対応するための体制強化                                        |
| 国際姉妹都市・友好都市交流事業 |    | 14,803  | ・朝陽市との国際友好都市締結25周年記念事業の実施<br>・マディソン市との国際姉妹都市締結20周年記念事業の実施              |



※拡充事業は、拡充額を事業費としています。

## 物価高騰対策

(単位 千円)

| 事業名                  | 拡充 | 事業費     | 事業内容                                                          |
|----------------------|----|---------|---------------------------------------------------------------|
| ●家計への支援              |    |         |                                                               |
| 定額減税補足給付金（不足額給付）給付事業 |    | 518,552 | ・令和6年度税制改正により実施された個人住民税の定額減税について、控除しきれなかった納税義務者に本来給付すべき額を調整支給 |
| 暖房代支援給付金給付事業         |    | 65,213  | ・低所得世帯に対して暖房代支援給付金を支給                                         |
| 物価高対応子育て応援手当         |    | 446,409 | ・子育て世帯に対して物価高対応子育て応援手当を支給                                     |
| 価格高騰重点支援給付金給付事業      |    | 32,052  | ・住民税非課税世帯に対して給付金を支給                                           |
| 水道事業会計支出金            |    | 645,637 | ・水道料金の基本料金を6か月間（5～10月検針分）免除                                   |
| ●食材価格等の高騰対応          |    |         |                                                               |
| 障害福祉施設等物価高騰対策支援事業    |    | 622     | ・北海道の物価高騰対策対象外の障害福祉施設等への食材料費及び光熱水費の支援                         |
| 保育施設物価高騰対策支援事業       |    | 534     | ・北海道の物価高騰対策対象外の保育施設への食材料費及び光熱水費の支援                            |
| 副食費支援事業              |    | 7,553   | ・保育所・幼稚園等への副食費の支援による保護者負担の軽減                                  |
| 学校給食事業               |    | 50,103  | ・食材価格の高騰に伴う学校給食の賄材料費の増に対し、保護者負担を増やさず提供                        |



令和6年度

新地方公会計制度における

統一的な基準に基づく

財務4表（普通会計）





新地方公会計制度ってなあに？

民間の企業が採用している、発生主義・複式簿記の考え方を取り入れた会計制度のことで、全国の自治体が民間企業と同じように財務書類を作成するようになったんだ。これにより、従来見えにくかった、より多くの財政情報を把握できるようになったよ。



具体的にどんなことがわかったの？

例えば、市が所有する土地や建物などの「資産」や、将来負担しなければならない「負債」などの状況がわかるようになったんだ。



## 新地方公会計制度

地方公共団体の会計は、1年間の現金の出入りを把握することに重点を置いた現金主義・単式簿記に基づいて処理されています。しかし、このような会計処理では「資産」や「負債」などのストック情報や、減価償却費などの現金の支出を伴わないコストが見えにくいといった課題がありました。そのため、民間の企業会計的な会計手法を取り入れ、これまで見えにくかった財政情報を的確に把握するため、以下の4つの財務書類を整備することとなりました。帯広市では平成20年度決算から作成しています。

| 財務書類       | 略称   | 内容                               |
|------------|------|----------------------------------|
| ① 貸借対照表    | (BS) | 基準日時点における財政状態（資産等の残高及び内訳）を表示したもの |
| ② 行政コスト計算書 | (PL) | 一会計期間中の費用・収益の取引高を表示したもの          |
| ③ 純資産変動計算書 | (NW) | 一会計期間中の純資産（及びその内部構成）の変動を表示したもの   |
| ④ 資金収支計算書  | (CF) | 一会計期間中の現金の受払いを3つの区分で表示したもの       |



財務書類の作り方ってどこの自治体も同じなの？

これまでは自治体によって作り方が違っていたんだ。だけど、団体間の比較ができないといった課題があったから、今は全国の自治体が「統一的な基準」で財務書類を作成しているよ。



## 4つの財務書類(1)



### ① 貸借対照表（バランスシート：BS）

貸借対照表は、年度末時点において、市が保有している資産と、その資産がどのような財源（負債・純資産）で賄われているかを表したものです。

資産は行政サービスを提供するために整備された公共施設などの固定資産と、現金預金などの流動資産に分類されます。負債は将来世代が負担する金額で、翌年度に支払いを行う流動負債と、翌年度以降に支払いを行う固定負債に分類されます。純資産については、資産と負債の差額で、資産総額のうち、すでに支払いを終えた金額を表しています。

#### ■貸借対照表

| (単位：億円)       |         |         |         |
|---------------|---------|---------|---------|
|               | R4      | R5      | R6      |
| 資産            | 2,812.9 | 2,751.3 | 2,726.3 |
| 固定資産（公共施設など）  | 2,746.9 | 2,678.9 | 2,645.1 |
| 流動資産（現金預金など）  | 66.0    | 72.4    | 81.2    |
| 負債            | 876.0   | 829.3   | 815.1   |
| 固定負債（市債残高など）  | 786.5   | 740.8   | 731.4   |
| 流動負債（賞与引当金など） | 89.5    | 88.5    | 83.7    |
| 純資産           | 1,936.9 | 1,922.0 | 1,911.2 |

#### ●貸借対照表からわかること

令和6年度末の時点では、公共施設などの資産が約2,726億円あるのに対し、この財源として、将来世代が負担する負債が約815億円残っており、差引き約1,911億円がこれまでに支払いを終えた金額になります。

令和5年度末と比較すると、資産も負債も減少しています。これは、資産については減価償却により資産価値が減少しているためであり、負債については市債残高が減少しているためです。なお、資産の減少額より負債の減少額が小さいため、純資産は前年度に比べて減少しています。



### ② 行政コスト計算書（PL）

行政コスト計算書は、ごみ処理や除雪などの市民サービスに要した費用や、減価償却費などの現金のやりとりがない費用などの1年間のトータルコストと、その財源となる使用料・手数料などの収益との関係を表しています。

#### ■行政コスト計算書

| (単位：億円)           |       |       |       |
|-------------------|-------|-------|-------|
|                   | R4    | R5    | R6    |
| 経常費用              | 801.5 | 797.6 | 831.8 |
| 業務費用（人件費や物件費など）   | 412.4 | 403.3 | 430.7 |
| 移転費用（社会保障費や補助金など） | 389.1 | 394.3 | 401.1 |
| 経常収益              | 49.1  | 49.0  | 76.5  |
| 使用料及び手数料（施設使用料など） | 20.7  | 19.7  | 20.0  |
| その他経常収益（雑入）       | 28.4  | 29.3  | 56.5  |
| 純経常行政コスト          | 752.4 | 748.6 | 755.3 |
| （＋）臨時損失（災害復旧費など）  | 0.0   | 4.5   | 4.7   |
| （△）臨時収益（資産売却益など）  | 0.3   | 1.5   | 0.8   |
| 純行政コスト            | 752.1 | 751.6 | 759.2 |

#### ●行政コスト計算書からわかること

令和6年度では、約832億円の経常費用と約77億円の経常収益の差引き約755億円が純経常行政コストとなります。これに災害復旧費などの臨時損失や資産売却益などの臨時収益を加味した約759億円が純行政コストとなります。なお、純行政コストの多くは市税や地方交付税、国・道からの補助金などで賄っています。

令和5年度と比較すると、純行政コストは約8億円の増となりました。



## 4つの財務書類(2)



### ③ 純資産変動計算書 (NW)



純資産変動計算書は、貸借対照表の純資産の1年間の変動内容を表しているほか、行政コスト計算書で算出された純行政コストが市税や国・道からの補助金などでどの程度賄われているかも表しています。

#### ■純資産変動計算書

|              | (単位：億円) |         |         |
|--------------|---------|---------|---------|
|              | R4      | R5      | R6      |
| 期首純資産残高      | 1,953.1 | 1,936.9 | 1,922.0 |
| 純行政コスト (△)   | △ 752.1 | △ 751.6 | △ 759.2 |
| 財源           | 736.1   | 733.1   | 747.0   |
| (1) 税収等      | 470.8   | 470.3   | 486.0   |
| (2) 国・道補助金   | 265.3   | 262.8   | 261.0   |
| 本年度差額        | △ 16.0  | △ 18.5  | △ 12.2  |
| その他の変動 (寄附等) | △ 0.2   | 3.6     | 1.4     |
| 本年度純資産変動額    | △ 16.2  | △ 14.9  | △ 10.8  |
| 期末純資産残高      | 1,936.9 | 1,922.0 | 1,911.2 |

#### ●純資産変動計算書からわかること

令和6年度は、純行政コストが約759億円であったのに対して、市税や国・道補助金などの財源は約747億円であったため、差引き約12億円の減少となりました。このほか、資産の所管換えなどにより無償で譲り受けた資産等を加味したところ、令和6年度末の純資産残高は前年度に比べ約11億円減の約1,911億円となりました。

令和5年度と比べると、財源は増加しましたが、純行政コストの全額を賄うことができていないため、純資産残高は減少しています。



### ④ 資金収支計算書 (CF)



資金収支計算書は、1年間の行政活動に伴う資金の収支を「業務活動収支」「投資活動収支」「財務活動収支」の3つの区分に分けて表示したものです。

「業務活動収支」は人件費や物件費などの経常的な支出が、市税や国・道補助金などの収入でどの程度賄えているかを表しています。「投資活動収支」は公共施設の整備や貸付金などの支出に対して、国・道補助金や貸付金に係る元金収入などでどの程度賄われているかを表しています。「財務活動収支」は当該年度の市債発行や償還の状況を表しています。

#### ■資金収支計算書

|            | (単位：億円) |        |        |
|------------|---------|--------|--------|
|            | R4      | R5     | R6     |
| 期首現金預金残高   | 24.8    | 21.9   | 16.8   |
| (うち前年度繰越金) | (23.4)  | (20.5) | (15.4) |
| 当期資金収支     | △ 2.9   | △ 5.1  | △ 2.6  |
| 業務活動収支     | 76.8    | 72.7   | 85.7   |
| 投資活動収支     | △ 29.8  | △ 32.8 | △ 69.6 |
| 財務活動収支     | △ 49.9  | △ 45.1 | △ 18.4 |
| 歳計外現金増減額   | 0.0     | 0.1    | △ 0.3  |
| 期末現金預金残高   | 21.9    | 16.8   | 14.2   |

#### ●資金収支計算書からわかること

令和6年度は、業務活動収支が黒字となっているものの、投資活動収支や財務活動収支の赤字が大きく、全体の収支状況としては、約2.6億円の赤字となりました。なお、この赤字額に前年度からの繰越金(約15.4億円)を足すと、令和6年度の普通会計黒字額(約12.8億円)と一致します。

令和5年度と比べると、業務活動収支や財務活動収支が改善し、全体としては約2.5億円の改善となりました。

# 主な指標からわかること



4つの財務書類から、どんなことがわかるのかしら？

例えば総資産額を帯広市の人口で割り返すことで、市民一人当たりの資産額などがわかるよ。他にも主な指標をまとめてみたよ。



## ■主な指標の増減

|                                                          | R4                         | R5      | R6      | 対R5増減    |
|----------------------------------------------------------|----------------------------|---------|---------|----------|
| 市民1人当たりの資産額（BS）<br>（資産合計÷人口）                             | 171.5万円                    | 169.4万円 | 169.5万円 | 0.1万円    |
| 純資産比率（BS）<br>（純資産合計÷資産合計）                                | 68.9%                      | 69.9%   | 70.1%   | 0.2      |
|                                                          | ※これまでに支払いを終えた資産の割合を示す指標    |         |         |          |
| 市民1人当たりの負債額（BS）<br>（負債合計÷人口）                             | 53.4万円                     | 51.0万円  | 50.7万円  | △ 0.3万円  |
| 基礎的財政収支（CF）<br>（プライマリーバランス）<br>（業務活動収支（支払利息支出除く）＋投資活動収支） | 51.1億円                     | 43.6億円  | 19.6億円  | △ 24.0億円 |
|                                                          | ※市債の発行と償還を除いた収支の釣り合いを示す指標  |         |         |          |
| 市民1人当たりの行政コスト（PL）<br>（純行政コスト÷人口）                         | 45.9万円                     | 46.3万円  | 47.2万円  | 0.9万円    |
| 受益者負担の割合（PL）<br>（経常収益÷経常費用）                              | 6.1%                       | 6.1%    | 9.2%    | 3.1      |
|                                                          | ※行政サービスの提供に対して受益者が直接負担する割合 |         |         |          |

※人口については各年度12月末時点の住民基本台帳人口を採用  
（R4:164,014人、R5:162,460人、R6:160,810人）

### ●主な指標の推移からわかること

市民1人当たりの資産額は約0.1万円増加しています。これは、人口の減少によるものです。資産全体に対する純資産の割合である純資産比率は増加していますが、これは将来世代が負担する負債の割合が減っていることを意味しています。市民1人当たりの負債額は概ね横ばいですが、これは市債残高と人口がどちらも減少しているためです。

基礎的財政収支とは、市債の発行と償還を除いた自治体の「収入と支出の釣り合い」をみる指標であり、これがプラスであれば持続可能な財政運営ができていと言えます。帯広市はプラスの状態を維持しており、黒字額は約20億円となっています。市民1人当たりの行政コストは約0.9万円増加していますが、これは純行政コストが増加したことに加え、人口が減少したことによるものです。受益者負担の割合は3.1ポイント上昇していますが、これは十勝圏複合事務組合からごみ処理施設基金分配金を受け取ったことによる一時的なものです。

## ■ 用語解説



### 歳入項目

|          |                              |
|----------|------------------------------|
| 市税       | 市民の皆さんや法人に納めていただいた税金         |
| 分担金・使用料等 | 施設利用者に負担していただくものなど           |
| 諸収入      | 預金利子、貸付金返還金など                |
| 地方交付税    | 国が一定基準に基づき市に交付するもの（詳細次ページ参照） |
| 譲与税・交付金  | 国・道が一定基準に基づき市に譲与するもの         |
| 国・道（支出金） | 国・道からの補助金など                  |
| 市債       | 長期的な借入金                      |



### 歳出項目

|          |                             |
|----------|-----------------------------|
| 人件費      | 職員の給与など                     |
| 扶助費      | 生活保護や高齢者、障害者、子育て世帯などを支援する支出 |
| 公債費      | 市債の元金償還や利子の支払い              |
| 物件費      | 燃料費、光熱水費や委託料など              |
| 補助費等     | 各種負担金、補助金など                 |
| 投・出資・貸付金 | 貸付金など                       |
| 繰出金      | 特別会計への繰出金                   |
| 普通建設     | 道路や学校などの建設費用                |



### 自主・依存財源

市の歳入を財源の性質から、自主財源と依存財源の2つに分類しています。自主財源とは、市税や施設の使用料など、市が自前で調達できる収入のことをいいます。また、依存財源とは、主に地方交付税や国・道支出金など、国や都道府県から交付される収入のことをいいます。



### 三位一体の改革

「三位一体」の改革とは、国において地方財政のスリム化と地方自治体の裁量権の拡大を目的とし、「国庫補助負担金の削減、地方交付税の縮小、税源の移譲」の3つを同時に進めたものです。

本市への影響としては、平成 16 年度から平成 18 年度の 3 か年総額で約 32 億円の収入減となっています。



### 任意的・義務的経費

市の歳出を支払いが義務付けられているかどうかで、任意的経費と義務的経費に分類しています。任意的経費とは、物件費など、市が任意に支出することができる経費をいいます。また、義務的経費とは、人件費や扶助費などの、支出が義務付けられ任意に節減できない経費のことをいいます。

## ■ 用語解説



### 地方交付税

国の税収入となっている所得税・法人税・消費税・酒税の一定割合を財源として、国が地方自治体に配分する資金のことをいいます。財源の不足分にに応じて地方自治体に交付することで、地方自治体間にある財源の不均衡を調整し、国民が受ける基本的な行政サービスが住む場所によって差のないようにする狙いがあります。



### 通常債と特例債

通常債とは、学校建設、道路整備、公園整備など市が行う公共事業に対して発行した市債であり、特例債とは、通常債以外の以下の市債としています。

#### 《臨時財政対策債》

地方交付税の交付原資の不足に伴い、地方交付税の代わりに、自治体が国に代わって発行する特例的な市債。償還にあたっては、地方交付税で措置されます。

#### 《減税補てん債》

税制改正に伴う国の個人住民税等の恒久減税による減少額を補てんするために発行する特別な市債。償還にあたっては、地方交付税で措置されます。

#### 《減収補てん債》

地方税の収入額が、地方交付税の算定における収入見込額を下回る場合、この減収を補てんするために発行する特別な市債。償還にあたっては、地方交付税で措置されます。

#### 《猶予特例債》

新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、地方税の徴収猶予により生じる一時的な減収に対応するために発行する特別な市債。

#### 《国費減少》

国庫補助負担率の引き下げに伴い、国庫補助負担金の減少額に相当する額について発行が許可された市債。

#### 《国営土地改良》

国営土地改良事業完了後、高い金利で債務負担行為により償還していたものを、自治体の財政負担軽減を図るため低利に借換えすることが認められた市債。



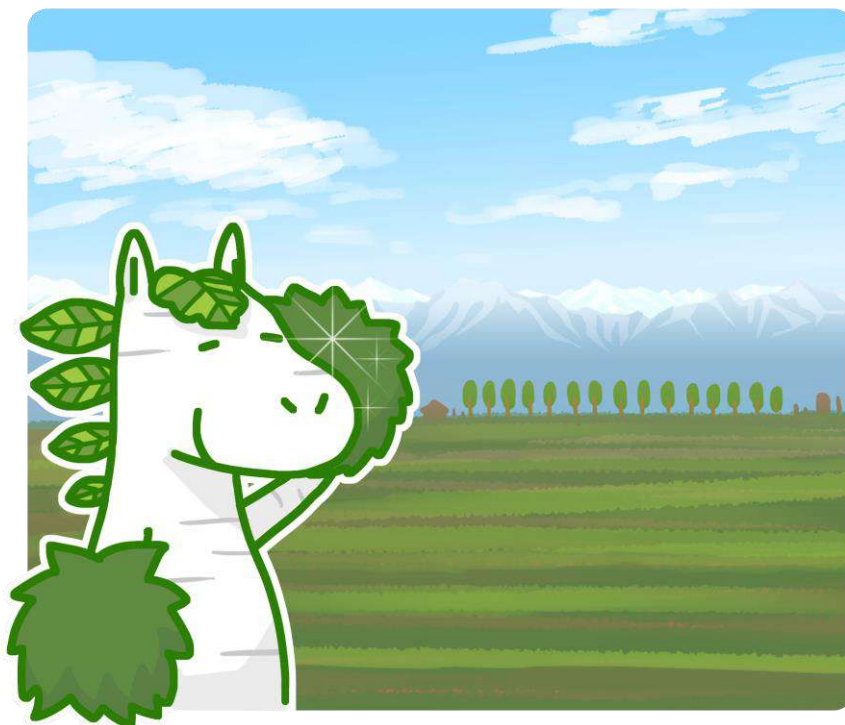
### 類似団体

類似団体とは、人口及び産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものです。帯広市の類似団体は、本市を含めて3市あります。

#### 《類似団体》

帯広市、弘前市、都城市

※類似団体のグループ分けは数年に一度大きく見直しが行われ、帯広市と同じグループに属する団体は、平成28年度に50団体から15団体へ、平成29年度に5団体へ、令和3年度に3団体へ見直されました。このとき、グループに属する団体の構成も変わるため、財政力指数などの平均値も大きく影響を受けることがあります。



過去の台所事情はこちらからご覧いただけます。

**編 集 帯広市政策推進部財務室財政課**

〒 080-8670 帯広市西5条南7丁目1番地

Tel 0155 - 24 - 4111  
0155 - 65 - 4106 (直通)

Fax 0155 - 23 - 0151

Mail [finance@city.obihiro.hokkaido.jp](mailto:finance@city.obihiro.hokkaido.jp)

URL <https://www.city.obihiro.hokkaido.jp/>

この冊子は帯広市のホームページでもご覧いただけます。

トップページから、

「市政情報」→「財政」→「決算」→「帯広市「財政の状況」」  
へお進みください。